本製品のお問い合わせ先

KTC 京都機械工具株式会社

〒613-0034
京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地
お客様窓口（ものづくり／お客様センター）TEL：0774-46-4159
FAX：0774-46-4359
※お電話での受付時間は午前9:00～12:00、午後1:00～5:00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
Email：support@kyototool.co.jp
URL http://www.kyototool.co.jp/

支　店　TEL　東京 03（3752）2261　名古屋 052（882）6671　近畿 0774（46）3711
営業所　TEL　札幌 011（824）0765　仙　台 022（231）6322　金沢076(291)4546
広島 082（273）0202　四　国087(869)4474　福岡 092（441）5637

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります（日本国内専用）。

No.T58021-0.07.06.KTC

KTC 12.7sq.インパクトレンチ疲れ知らず（JAP420EX）取扱説明書

このたびは、KTCエアツールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、KTCブランドがつくり出した品質の高いエアツールです。より安全に、より永くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、注意事項や使用方法などをご理解の上、正しくお使い下さい。
また、お読みになった後もこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。

●特徴

・コンパクトな形状と強化樹脂ボディの採用による優れた重量バランス。
・オリジナル設計のツインハンマーによる高出力と安定したパワー。
・リバースバイアスモーターの採用により、作業効率を高める左回転のパワーを強化。
・厳選された部品と高精度加工による耐久性の向上。
・360度回転シーベルインレットの採用により、ホースの取り回しが良い。
・デュアルコントロールレギュレーターの採用により、左右両方向の出力調整が個別に行えます。（図１）

＜図１＞

右回転・左回転用
レギュレーターと
回転方向切替えレバー

●諸元

	No.JAP420EX
ドライブ角	12.7sq.(1/2sq.)
先端工具止め方式	リング止め式（ピン止め穴有り）
能力ボルト径	M16
最大トルク（右回転）	320N・m(32kgf・m)
最大トルク（左回転）	360N・m(36kgf・m)
無負荷回転数	10,000rpm
最適使用空気圧	0.63MPa（6.3kgf/cm²）
無負荷空気消費量	1.07m³/min
エアインレット	PT1/4″（シーベルタイプ）
使用エアホース内径	8mm
重量	1.20kg

●使用方法

①使用目的に適合した先端工具（ソケット等）をドライブ角に正しく取り付けて下さい。
＊ソケットはインパクトレンチ用を使用して下さい。
②適正なエア圧に接続して使用して下さい（エアホースカプラを取り付ける）。
＊エア圧は0.6～0.7MPa（6～7kgf/cm²）で使用して下さい。0.63MPa（6.3kgf/cm²）が最適条件。
③回転方向を確認、パワーランクをレギュレータレバーで調整して下さい。
＊○印が大きくなるほど流量が増え、パワーが大きくなります。適正な位置で止めて使用して下さい。
＊回転方向のレギュレーターを確認のうえご使用下さい。
＊時計方向（右回転）で使用する場合は、背面下のレバーを ↻ 側に、
左回転は ↺ 側へ回して下さい。
④ボルトナットに先端工具（ソケット等）を確実にセットして下さい。
⑤トリガーを離すとエア圧が遮断され、回転が停止します。
＊目的の作業が終われば、素早くトリガーを離して下さい。

⚠ 警告　取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　取扱を誤った場合に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- 本機を改造しないで下さい。また、本来の使用目的以外には使用しないで下さい。
- 機種の能力を超えた無理な使い方はしないで下さい。
- 無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにして下さい。
- 作業中は安全のため、保護めがね、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴などを着用して下さい。
- 目的や環境に応じた服装で作業して下さい。長い髪の毛やアクセサリーなども注意して下さい。
- ソケットなど先端工具の交換はエアホース（カプラ）を外して行って下さい。
- 本機に装着するアクセサリやソケットなどの先端工具はインパクトレンチ用を使用して下さい。
- 作業を始める時は、先端工具などがしっかり取り付いている事を確認して下さい。
- 回転している先端工具や駆動部分には触れないようにして下さい。
- エアツールはスイッチをオフにしても、しばらく回転しますので注意して下さい。
- 作業前に本機の各部に亀裂や異音など異常がないことを確認して下さい。
- 作業中に本機に異常を感じたら、直ちに使用を中止して点検し、必要に応じて修理を依頼して下さい。
- エア圧は0.7MPa（7kgf/cm²）以下で使用して下さい。0.63MPa（6.3kgf/cm²）が最適条件です。
- 圧縮空気以外を動力源にしないで下さい。酸素やプロパンガスなどの高圧ガスを使用しないで下さい。
- エアホース（カプラなど）は確実に取り付けて下さい。エアホースが外れるとホースが飛び跳ねます。
- 作業対象物は確実に保持して作業して下さい。
- ガソリン、ガスなど引火性の高い危険物の近くでは作業しないで下さい。
- インパクトレンチは、ソケットやアタッチメントなどを装着した状態で空回転させないで下さい。ソケットやアタッチメントが飛ぶ危険があります。

⚠ 注意

- 安定した性能を維持してご使用いただくために、定期的に保守点検をして下さい。
- 使用圧縮空気は清浄で乾燥したものを使用して下さい。
- 本機は精密な部品も使われています。投げたり落としたり、ホースを持って引きずったりするなど乱雑に扱わないで下さい。
- 空回転をしないで下さい。摩耗を早めたり、故障の原因になります。
- 異常劣化させないために、連続フルパワーは１分以上掛けないようにして下さい。
- 使用後はインレット部よりオイルを数滴注油して下さい。（当社エアツールオイルNo.YCO-280を推奨）
- 使用後は、エア取り入れ口からほこりやゴミなどが入らないようにして下さい。
- 保守パーツは当社の指定品を使用して下さい。
- 修理は販売店または当社支店・営業所に相談下さい。
- トルク制御できませんので、規定トルクが必要な場合はトルクレンチにて締めて下さい。

●エアについて

- エアツールの性能を十分に発揮させるには、常に清浄で乾燥した規定圧の圧縮空気が必要です。
- 配管には３点セット（フィルター・レギュレーター・オイラー）を使用して下さい。
- コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去して下さい。
- 使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにして下さい。
- ホースは老化していないものを使用して下さい。
- ホースや配管などは長くなりますと、かなりの空気圧損失があります。
- 付属のエアカプラをご使用下さい。他のものをお使いになりますと、エア漏れ、トルク低下の原因となります。

トラブルシューティング

動かない場合 ————

●エアツールのスイッチは正常ですか。

●エアホースに接続されていますか。

●エアは来ていますか。

●エアコンプレッサは正常に稼働していますか。

本来のパワーが得られない場合 ————

●エア圧は適正範囲内ですか。

●エアホースの内径は適正ですか。

●エア消費量（他のエア機器との消費量合計）に対し、エアコンプレッサの能力は十分ですか。

●レギュレーターは適正に調整されていますか。

以上をご確認されても正常にならない場合は、
お買い上げの販売店または次ページのお問い合わせ先にご相談下さい。